

三鷹市森のひろば（仮称）トータルコーディネート業務 デザインスクリプト

1 基本理念

三鷹幼稚園跡地利活用基本プランに基づき令和9年2月に開設する「三鷹市森のひろば（仮称）」は、中高生世代を含む子どもたちが安心してつらいで過ごすことができる居場所であると同時に、子どもが主人公となり、主体的な遊びや学びを楽しむための施設である。

また、子ども・若者が気負わずゆっくりと話したいことを伝えられ安心感や自己肯定感を得ることができる場であるとともに、「子ども・若者相談室」を併設し、さまざまな相談に対応し適切な支援につなぐことを目的とする。

2 ユーザーエクスペリエンス（子どもに提供したい体験等）

- (1) 遊びをとおした学びや気づき
- (2) 安全で安心して過ごすことができ、また行きたいと思える。
- (3) 自由に自分らしく過ごすことができる。
- (4) 同世代の友だち又は近い世代の子ども同士の交流
- (5) 孤立感の軽減
- (6) さまざまな困りごとに対する相談対応
- (7) 子育て世代の交流及び子育て支援関連の情報収集

3 対象利用者

(1) 乳幼児親子

午前9時から午後5時まで利用可。未就学児は保護者同伴とする。イベント時を除き、あそびとえほんのスペース及び館庭を利用

(2) 小学生

午前9時から午後5時まで利用可。学習スペースとして会議室の利用も想定

(3) 中高生世代

午前9時から閉館まで利用可。勉強やおしゃべりを楽しむ場として多目的スペースを想定。学習スペースとして会議室の利用も想定

(4) 若者世代

18歳以上の若者については、相談室を利用することができる。

4 空間デザイン方針

子どもたちが安心して居られる場所、挑戦できる場所、人と出会う場所、静かに考える場所を選びながら成長できる環境を創出するため、「一人ひとりが主人公になる遊びと学びの場」であることをベースにデザインする。

また、運営機能である遊び・学び・相談・交流を空間的に可視化し、中高生世代を含む子どもたちが自分らしい居場所を見つけられる施設を目指す。

- (1) 居場所の選択肢をつくる。
- (2) 視線の抜けをつくり、見守りと自立を両立する。
- (3) 活動のグラデーションをつくる。
- (4) 子どもとともに成長する可変的な施設とする。
- (5) ユニバーサルデザインの導入
- (6) 近隣の子育て支援施設やコミュニティ・センターとの差別化

5 什器等に関する要求水準

什器等は、児童及び中高生世代が安全かつ快適に利用できるものとし、学習、交流、休息及び相談支援等の機能を十分に発揮できる品質、耐久性、維持管理性及び可変性を有するものとする。

6 提案範囲

- (1) 施設屋内什器等（ウッドデッキ含む。）
- (2) 各室サイン
- (3) 正門サイン
- (4) 館内案内板及び掲示板等